|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 映像教材活用プログラム⑥（40～60分程度） | ２歳児・子供同士のトラブル | | |
| **http://kids.wanpug.com/illust/illust864.png　　すぐに仲直り** | | 媒体 | ＶＨＳ |
| 時間 | 15分 |
| 整理番号 | S00508 |
| 本プログラムのねらい | 期待される効果 | | |
| ○トラブルに合った子供への保護者としての対応の仕方について理解する。  ○子供同士の人間関係について親がどう関わっていくべきかについて、意見交流する。 | ささいな喧嘩やトラブルに、いつもつい口を出しがちな保護者が、ゆとりと自信を持って子供に関わることができるようになる。 | | |
|  | | | |
| 活動の主な流れ（映像教材の内容） | 運営上の留意点 | | |
| １　ビデオの視聴前に、「両どなり他己紹介＆自己紹介」を行う。（共通テーマ：子供同士のけんか等）（１５分）  **（例）子供同士のけんかに親が口を出すことはないと言う人がいますが、そうはいっても**  **我が子が泣き出してしまったら、落ち着いてはいられないのではないでしょうか。**  **「子供同士のけんか」をテーマに、自己紹介してみましょう。** | ・会場は、「サークル型」でレイアウトする。  ⏩「オープニングプログラム」参照  http://kids.wanpug.com/illust/illust3527.png | | |
| ２　ビデオを視聴する。（１５分）  **（例）今回は、子供同士のトラブルをテーマにしたビデオです。ビデオを見た後で、**  **感想などについて話し合います。ワークシートに必要なことをメモしながら見ましょう。**  【ビデオの概要】  ○オープニング（～7′30″）  　・友達に持っているものを取られて泣き出す子と、  それを見て笑っている母親のシーン  　・２歳児の特徴（心の葛藤が顔の表情や言動に表れる）  ○トラブルの後の関わり方（7′35″～）  　・子供の感情が収まって、一段落したところでお話を共感的に聞く  　・それぞれの子供の親がお互いに見守っていく  ○親同士が話し合うことの大切さ（10′11″～）  　・子供同士の関わりの中から学ぶことが多い  ○エンディング（12′00″～）  　・金子みすずの詩の紹介 | http://kids.wanpug.com/illust/illust3529.png  視聴後、ビデオの内容と参加者の実情を結びつけた話をするために、ビデオが始まったら、進行役は、「両どなり他己紹介＆自己紹介」などで話題になったことと、ビデオの内容と重なる内容をメモする。  冒頭のこのシーンで、いったんビデオを止め、「こういう場合、ふだんの自分だったらどうするか」という問いかけをして、  簡単な意見交流をさせてもよい。 | | |
| ３　ビデオ視聴後の感想を交流する。（10分～30分）  ・感想交流後、印象に残った言葉などをワークシートにメモする。  **（話し合いを深める言葉かけの例）**  **・ビデオの中では、親がゆとりを持つことが大切だということが言われていましたが、私たち親がゆとりを持って子供に接するには、どうしたらよいか、話し合ってみましょう。** | ・冒頭の自己紹介で話題になった内容とビデオの共通点や相違点について触れる。  ⏩「エンディングプログラム」参照 | | |